

取組3 健康長寿の推進

取組の評価 3.1 概ね順調

- < 取組3の基本方針 >
- 1 健康教育の推進

2 生きがいづくりの支援

3 地域で支える介護環境の充実

4 介護サービスの充実

5 高齢者を支える福祉環境の充実

6 総合的な社会福祉の推進

【取組の目的】 高齢者が住み慣れた地域社会の中で、健康でいきいきと安心して暮らせる環境を整備します。

『 取 組 』 に 係 る 社 会 の 動 向 と 本 市 の 現 状

1 社会の動向

- ◎ 高齢化の速度を表す指標のひとつである「倍化年数【高齢化率が倍になる年数】」が日本では24年であるが、欧州諸国においては比較的短い国でも40年程度、長い国では100年程度であることから、日本はこの課題に迅速に対応する必要があるということになる。この急速な高齢化傾向は今後も続くと予想されている。平成23年9月15日現在、日本の高齢者人口は2,980万人で、総人口の23.3%であり、過去最高の高齢化率となっている。そのような中、県内の『特別養護老人ホーム』への入所希望高齢者のうち、待機高齢者は約1万3千人（平成24年1月現在）おり、施設整備が追いつかず、在宅介護を支えるサービスも十分に整っていないのが現状である。
- ◎ 平成23年6月に成立した『改正介護保険法』では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく提供する、「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護・看護等の創設、介護職員によるたん吸引などの実施、市民後見人の育成の推進等、所要の改正が行われ、平成24年4月1日から施行されている。
- ◎ 厚生労働省は、健康に長生きすることを重視し、介護を受けたり、病気で寝たきりになったりせず、自立して健康に生活できる期間を示す「健康寿命」を初めて算出した。静岡県は男性71.68歳（2位）、女性75.32歳（1位）であったが、今後は「健康寿命」を伸ばすための取組も重要視される。

2 本市の現状（主な取組）

- ◎ 平成23年度は、高齢者が生きがいを持って安心して生活が続けることができる仕組みや高齢者の暮らしを地域全体で支える体制を整備するため、平成24年度から向こう3か年の高齢者福祉と介護保険事業の取り組むべき施策の方向性と具体的な事業目標を定めた『長寿しあわせ計画』を策定している。
- ◎ 『保健・医療・介護構想』の具現化のため、「地域包括ケアシステム」の構築を進めていく。具体的には、24時間訪問介護・看護や小規模多機能居宅介護などの在宅サービスへの新たな取組や、特別養護老人ホームの増床・新設などとともに、徘徊した高齢者を早期に発見する「はいかいSOSネットワーク」をはじめとした、地域での見守りネットワークを構築することで、支援が必要な人をサービスへつなげ、安心して在宅で生活できる環境づくりを行う。
- ◎ 各種介護予防教室・講座の開催や敬老・長寿祝い事業、シルバー人材センターや老人クラブへの補助事業等、高齢者が生きがいを持ち、自分らしい生き方ができる環境づくりを促進している。また、介護予防事業へ多くの方が参加することで、要介護認定者の増加が抑えられ、生きがいづくりにも繋がっている。

『 取 組 指 標 』 の 分 析 と 評 価 結 果

1 取組指標の評価 【※ 実績値は、各年度末における最新数値】 評価結果の平均値（A） 2.3

<評価基準> 4: 達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 3: 達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 < 0% 2: 達成率 < 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 1: 達成率 < 100%・前年比伸び率 < 0%

番 号	指 標 名	項 目	現状値(計画)	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1	要介護認定者の割合(65歳以上)【%】 (要支援者含まず)	目 標 値	－	11.9	11.9	11.7	11.5	11.3	11.0
		実 績 値	11.8	12.1	12.3				
		達成率 伸び率	－ －	98.3 ▲2.5	96.7 ▲1.6				
		評 価	－	1	1				
2	介護予防教室・講座参加者数【人】	目 標 値	－	8,490	8,490	8,490	8,490	8,490	8,490
		実 績 値	4,555	9,696	12,012				
		達成率 伸び率	－ －	114.2 112.8	141.4 23.8				
		評 価	－	4	4				
3	介護支援ボランティア登録人数【人】	目 標 値	－	150	250	330	400	400	400
		実 績 値	132	177	208				
		達成率 伸び率	－ －	118.0 34.0	83.2 17.5				
		評 価	－	4	2				
4		目 標 値							
		実 績 値							
		達成率 伸び率							
		評 価							

【指標に影響を与えた主な要因】

- ◎ “人とのつながり”に生きがいを見いだす高齢者の増加【H22実施：県の『高齢者の生活と意識に関する調査』結果】から、はつらつ運動教室の実施回数の増加が参加者数増加の一つの要因として考えられる。
- ◎ 各地域の高齢者団体・ボランティア団体への啓発活動により、社会参加への機運が醸成され、『介護支援ボランティア登録人数』が増加しているものの、目標値は下回っている。

2 指標で表すことが困難な成果

- ◎ 平成22年度から『介護予防教室』の新規事業として、“はつらつ運動教室”及び“楽笑教室”を実施したことで、多くの高齢者の参加促進や“生きがいづくり”と“健康づくり”の実践による介護予防などの効果が得られ、要介護認定者の抑制と介護予防の啓発に寄与した。
- ◎ 平成23年10月から、自治会や協力事業者とネットワークを構築し、認知症行方不明者の早期発見保護に努める「はいかいネットワークSOS」事業を実施している。

『 主 要 事 業 』 に 係 る 事 業 評 価 表 の 評 価 結 果

1 主要事業の評価

番号	主 要 事 業 名	H23 事業費 【千円】	事業評価表の評価結果		
			有 効 性	効 率 性	廃 止 の 影 響
1	長寿しあわせ計画策定業務	405	4	4	4
2	敬老祝い事業	21,061	4	3	4
3	高齢者いきいき農園事業	121	2	2	3
4	長寿祝い事業	988	4	4	4
5	袋井・森地域シルバー人材センター補助事業	13,347	4	3	4
6	老人クラブ補助事業	8,028	4	4	4
7	老人福祉センター施設運営事業	23,176	3	3	4
8	緊急通報システム機器貸与事業	5,525	4	3	4
9	寝たきり高齢者寝具洗濯等補助事業	305	4	4	4
10	高齢者日常生活用具購入助成事業	240	4	4	4
11	はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業	1,734	4	2	4
12	高齢者福祉電話貸与事業	171	4	4	4
13	養護老人ホーム施設運営事業	107,072	4	4	4
14	老人保護措置事業（市外施設）	9,028	4	4	4
15	地域包括支援センター運営協議会事業	124	3	3	4
16	紙おむつ支給事業	4,933	4	1	4
17	介護予防教室事業（はつらつ運動教室）	5,988	3	3	4
18	介護予防教室事業（楽笑教室）	15,286	3	3	4
19	二次予防事業対象者の対象者把握事業	3,033	3	2	3
20	介護予防事業（通所型・訪問型）	2,586	4	4	4
21	お元気サポーター養成講座	589	4	2	4
22	介護相談員派遣事業	2,180	4	4	4
23	在宅介護支援金支給事業	8,551	4	4	4
24	配食サービス事業	5,153	4	4	4
25					
評価結果の平均値（B）		3.7	3.7	3.3	3.9

『 取 組 』 の 有 効 性 ・ 必 要 性 ・ 緊 急 性 の 評 価 結 果

1 取組の有効性等の評価 評価結果の平均値（C） 3.3

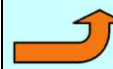
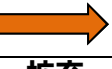
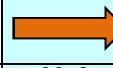
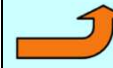
番 号	評 価 項 目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	コ メ ン ト 欄
1	有 効 性 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	4	3					◎ 『介護予防事業』を充実することで、要介護状態になることを回避することにもつながり、多くの高齢者の参加を促進する等、介護予防の啓発効果も得られ、有効である。 ◎ 介護サービスに加えて、健康教育推進のための教室開催など、複合的な事業展開により、高齢者が生きがいを持てる環境づくりを効果的に促進したことから有効である。
2	必 要 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	4					◎ 高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう、“医療・介護・予防・住まい・生活支援”の5つのサービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築が重要となっており、『保健・医療・介護構想』に基づき、地域での見守り体制の構築を図っていく必要がある。 ◎ 一人暮らし高齢者や高齢者世帯の増加が見込まれることから、介護予防事業や配食サービス、見守りネットワークなど、在宅支援の体制の充実が必要である。
3	緊 急 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	3	3					◎ 平成24年度から向こう3か年の高齢者福祉と介護保険事業の取り組むべき施策の方向性と具体的な事業目標を定めた『長寿しあわせ計画』を策定したことから、着実に進めていく必要がある。 ◎ 『長寿しあわせ計画』だけでなく、『地域福祉計画』や『保健・医療・介護構想』との連携が必要である。

『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向

1 総合評価 <<評価基準>> 4 ～ 3.6：順調 3.5 ～ 3：概ね順調 2.9 ～ 2：一部に改善を要する 1.9 ～ 1：全体的に改善を要する

取 組 の 評 価			コ メ ン ト 欄
3.1	概ね順調		◎ 高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう、“医療・介護・予防・住まい・生活支援”の5つのサービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築が重要となっており、『保健・医療・介護構想』に基づき、「はいかいSOSネットワーク」をはじめとした、地域での見守り体制の構築を図っていく必要がある。 ◎ 『介護予防事業』を充実することで、“生きがいづくり”と“健康づくり”の実践による介護予防などの効果が得られ、要介護認定者の抑制と多くの高齢者の参加を促進するなど、介護予防の啓発効果も得られている。 ◎ 今後、一人暮らし高齢者や高齢者世帯の増加が懸念されるが、安心して生活できる支援体制など、それぞれの課題に地域全体で取り組む体制づくりが必要である。
	各評価結果の平均値		
取組指標の 評価結果（A）	主要事業の 評価結果（B）	有効性等の 評価結果（C）	
2.3	3.7	3.3	

2 取組の基本方針別 今後の展開方向

番 号	取 組 の 基 本 方 針	H22	H23	H24	H25	H26	H27	今 後 の 展 開 方 向
1	健康教育の推進	拡充 	拡充 					『介護予防出前講座事業』やなど、介護予防に関する正しい知識の普及を図り、早期発見・早期対応の大切さを知ってもらう健康教育の教室を充実することで、“健康づくり”の支援を行い、多くの高齢者の参加を促進し、介護予防の啓発を図っていく。
2	生きがいづくりの支援	継続推進 	継続推進 					
3	地域で支える介護環境の充実	拡充 	継続推進 					地域の中核施設として、地域包括支援センターが介護予防支援をはじめ、総合相談・権利擁護事業で一定の役割を果たしてきているが、見守りネットワーク構築や包括的・継続的ケアマネジメント事業のさらなる機能強化を図っていく。
4	介護サービスの充実	拡充 	拡充 					
5	高齢者を支える福祉環境の充実	拡充 	拡充 					一人暮らしや認知症など、増加する支援ニーズに対応し、高齢者が地域から孤立しないように、平常時から地域で見守る「見守りネットワーク」を構築していく。また、災害時に要援護者を支援するための「災害時要援護者避難支援計画」を整備し、高齢者の生活の不安軽減や孤立死などの予防に備えていく。
6	総合的な社会福祉の推進	継続推進 	継続推進 					

【その他留意事項】